令和４年度　南房総市総合計画審議会第４回会議　会議録

１．日　　時：令和５年２月７日（火）　午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分

２．場　　所：南房総市役所　本庁舎　別館１　大会議室

３．出 席 者：総合計画審議会委員（出席 14 名、欠席 2 名）
南房総市：石井市長、嶋田副市長、三幣教育長
高梨総務部長、相川保健福祉部長、西田市民生活部長、小野農林水産部長、石井商工観光部長、中山建設環境部長、山野井病院事務長、眞田水道局長、小高会計管理者、青木議会事務局長、水島教育次長
企画財政課（中村課長補佐、押元係長、堀江主事）
コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ＆コンサルティング

４．次　　第：１　開会
２　会長あいさつ
３　市長あいさつ
４　議　事
（１）　第２期南房総市総合戦略の変更について
（２）　パブリックコメントの意見及び回答について
（３）　第２次南房総市総合計画後期基本計画（最終案）について
５　答申
６　その他
７　閉会

５．配布資料：資料１　パブリックコメントで寄せられた意見及び回答
資料２　総合計画後期基本計画（最終案）
資料３　パブリックコメント後の変更点について
資料４　第２期南房総市総合戦略の変更点について

６．審議概要

1　開会

事務局：時間となりましたので、始めさせていただきます。皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の進行を務めさせていただきます、総務部企画財政課、課長補佐の中村と申します。よろしくお願いいたします。会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

《資料の確認》

事務局：欠席委員のご報告を申し上げます。阿部委員、関委員におかれましては、ご都合により欠席となっております。それでは、ただいまから令和４年度南房総市総合計画審議会第４回会議を開会します。

2　会長あいさつ

事務局：続きまして、次第の２「会長あいさつ」に移ります。鎌田会長よろしくお願いいたします。

会　長：皆さん、こんにちは。本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。まちづくりの現場ではキーパーソン同士をつないでいく、とよく言われています。この場に、ご出席いただいている皆様は、まさにキーパーソンそのものです。地域や職場でご活躍いただいていると思います。総合計画を広めて、深めて、実行していくキーパーソンとなってほしいと思います。キーパーソン同士の連携も非常に重要だと言われています。ここでのご縁をきっかけにして、ぜひいろんな関係をつくってほしいと思います。これからも、官民連携で南房総市を一緒に盛り上げていただきたいと思います。本日はよろしくお願いします。

3　市長あいさつ

事務局：続きまして、次第の３「市長あいさつ」に移ります。石井市長よりご挨拶申し上げます。

市　長：各委員の皆さまには、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。総合計画の後期基本計画をつくるにあたって、皆様には大変長い時間をかけて議論していただきました。市にとって少子化の状況をどのように改善していくのか、また環境の問題に関しては、保全していく、うまく活用していく、共

生していく。そうしたことが南房総市にとって大きな方向性だと思います。今回の総合計画の中でもそういう視点に沿った計画があるものと考えています。こうしたことを着実に進めながら南房総市は更に将来に向けて希望の持てる自治体として発展していけるようにしていきたいと思います。引き続き皆様の変わらぬご指導ご鞭撻のほど賜りたいと思います。

4　議事

事務局：続きまして、次第の４「議事」に移らせていただきます。議事の進行につきましては、南房総市総合計画審議会規則第５条第１項の規定により、会長が議長を行うことになっておりますので、鎌田会長、よろしくお願いいたします。

会　長：それでは、議長を務めさせていただきます。本日の出席委員は 14 名です。半数以上の出席がありますので、総合計画審議会規則第５条第２項の規定により、会議はここに成立いたしました。ご質疑等がございます方は、挙手をもって、議長が指名した後お名前を言っていただいてから、マイクを使って発言をしていただきたいと存じます。また、南房総市総合計画審議会規則第７条の規定により、先程紹介しました職員にも説明員として出席していただいております。

（１）第２期南房総市総合戦略の変更について

会　長：それでは、早速議事に入ります。議事の「（１）第２期南房総市総合戦略の変更について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会　長：ありがとうございました。ただいまの説明について、ご不明な点等がございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。

《質問・意見なし》

会　長：「（１）第２期南房総市総合戦略の変更について」について、お諮りしたいと思います。ご賛成の方は挙手でお願いします。

《全員挙手》

会　長：以上で、議事の「（１）第２期南房総市総合戦略の変更について」を終了いたし

ます。

（２）パブリックコメントの意見及び回答について

会　長：続きまして、議事の「（２）パブリックコメントの意見及び回答について」事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会　長：ありがとうございました。資料１のご説明いただきましたが、ただいまの説明について、ご不明な点等がございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。

《質問・意見なし》

会　長：「（２）パブリックコメントの意見及び回答について」、お諮りしたいと思います。ご賛成の方は挙手でお願いします。

《全員挙手》

会　長：以上で、議事の「（２）パブリックコメントの意見及び回答について」を終了いたします。

（３）　第２次南房総市総合計画後期基本計画（最終案）について

会　長：続きまして、議事の「（３）第２次南房総市総合計画後期基本計画（最終案）について」事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会　長：ありがとうございました。資料２～３ご説明いただきましたが、ただいまの説明について、ご不明な点等がございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。

委　員：現在の説明とは異なりますが、19 ページの子育て教育環境の実現の中で、「★高校生のいる世帯への経済的給付の検討」と記載がありますが、資料の中から具体的な記載が見当たらないので、何かありましたら伺いたいと思います。（石井委員）

事務局：まだ具体的に何をやるか事業が決まっていない段階です。負担が大きくなる高校生に対して支援ができないか継続して検討していきたいと思います。

職　員：子ども医療費助成事業拡充の検討の中で、高校生までの医療費を助成の対象にしてはどうかという意見がありましたので具体的な検討をしています。（相川保健福祉部長）

委　員：妊婦期から中学３年生までの育児や教育の支援は整備されていると思います。しかしながら、高校生のお子さんを持つ家庭で、スクールバス等の運行がなくなり、交通支援に不便さを感じているので、検討してほしいと思います。高校生に対して配慮した計画づくりにすると、５６ページにある指標の子育てしやすいまちだと思う割合の現状値と目標値が上がるのではないかと思います。（石井委員）

委　員：グラウンド整備率の記載から小・中学校の照明LED化改修率という指標の大きな変更となりましたが、グラウンド整備率の方は進めていくという認識でよろしいでしょうか。（白井委員）

事務局：市の掲げているカーボンニュートラルに適合している照明 LED 化に改修していく。グラウンド改修は別で進めていきたいと考えています。

委　員：各論の下に市民コメントが入っているが、市民意見が何故記載されているかを入れるとわかりやすいと思います。計画の参考にするなど目的を記載すると市民意識調査やワークショップが取り入れられていることがわかってもらえると思います。（藤井委員）

事務局：すべての意見を記載することは難しいですが、レイアウト等を調整してなるべく多く記載できるようにしていきたいと思います。

委　員：誤解があるといけないので、レイアウト等で工夫していただけると嬉しいです。（藤井委員）

会　長：「（３）第２次南房総市総合計画後期基本計画（最終案）について」、お諮りしたいと思います。ご賛成の方は挙手でお願いします。

《全員挙手》

会　長：以上で、議事の「（３）第２次南房総市総合計画後期基本計画（最終案）について」を終了いたします。

会　長：以上ですべての議事を終了させていただきます。長時間にわたり、貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。すべての議事を終了しましたが、ご感想等ありましたらお願いします。

委　員：高校の教員で県北の学校に12年勤務して、1987年に安房高に転入してきました。その時に校長に言われたことは、このままでは、この地域の若者が減る。地元から一度は県外の方に出てもいいが、伴侶を見つけて南房総に戻ってきてほしい。このようなことを若者に伝えていってほしいと言われました。東京水産大、農工大へ卒業生を送ったが、帰ってきたのは２名しかいなく、非常に少ない。自分は娘が３人いて、２人は千葉県内にいるが木更津地域で南房総、館山地区には住んでいないです。人口の減少は非常に難しい課題と感じている。南房総に住みたいというひとが数人、古民家を捜している。できるところから進めていきたい。（鈴木定一委員）

委　員：生まれは勝山、漁師の家庭で生まれた。自分が若い頃、この地域は漁業が盛んで、床屋が漁師のひとで順番待ちがあるほどでした。先日千倉の平舘海岸に行っても人がいない。南房総市で結婚するということは難しいと思います。まず仕事の給料が安いからです。優秀なひとは給料のいい東京で働く。南房総市で結婚をしよう、という人がいないので家の前に子どもがいない。以前は１学級400人くらいいたが、今は１学級37人程しかいない。このままでは限界集落になってしまう。何とかしなければならないと常々思っています。これからも皆さんと頑張っていくしかないと思います。（青木委員）

委　員：自分は今回初めて委員として参加しました。他の委員さんの各分野について様々な意見を伺ってとても勉強になりました。聞いた意見を持ち帰って、自分に何ができるのだろうと再確認をしていきたいと思います。人と支え合い、人とのつながりを大事にして、事業や地域づくりをしていけたらいいと思います。（羽山委員）

委　員：各論が達成できて、重点プロジェクトが達成できて、だから少子化が解消されると主張してきました。各論・重プロを達成して、だから南房総市の子どもが増えていったらよい。先程、道の駅の話題がでましたが、最近の自分の身の回りの出

来事で感じたことがあります。今週いすみ市の女性部の方 20 名くらいが南房総に遊びに来る。行程表を見ると鴨川の道の駅には立ち寄るが、南房総市の道の駅は寄らない。ぜひ南房総市の道の駅に寄ってほしかった。今回の基本計画を実現して、道の駅の魅力がもっと高まるとよいと思います。品川区は子どもの教育費は無償、第２子の保育料は無償になっている。民間の学童や学習塾に高い費用を払っている家庭が多いことも聞いている。南房総市は教育費や給食費を無償にすることは難しいが、質を高めることを大切にしてほしい。無償ではないが市が提供しているものはとても魅力的なのだと伝えてほしい。自分の子どもの食育は保育園でやっていただいたと感謝しています。（押元委員）

委　員：最近のお話で、あわびが絶滅危惧種になるということを聞きました。南房総市の観光という点では、今後厳しくなると思うので育てる漁業をぜひ進めていただきたい。子どもたちに漁業などの体験をしてもらい、新たな南房総市を発見してほしい。将来南房総市に住んでみたいと思う子どもが増えていけばよいと思います。市の観光が人口増加の施策に協力できればよいと思う。（川名委員）

委　員：信用金庫は地域密着型で、地元の金融機関になります。株式会社組織の銀行とは違い、地域と運命共同体という立場であると思います。今回の基本計画では、市民意識調査、市民アンケートというメニューが増えており、市民参加型の計画が完成したと考えている。館山信用金庫の顧客の民間経営者の方と行政の政策企画部門の方との意見交換会を予定している。安房地域の他市の行政の方々と地域経営者の方々の発言を聞けるよい機会となると思います。１月に安房総合支援ワンストップ相談窓口を開設した。事業者の経営相談や個人の移住、相続に関する相談など地元市民の相談を受け付ける。信用金庫以外の相談事はすべて連携先に取り次ぐ仕組みとなっている。今後も地域創生に取り組んでいきたいと考えています。（出川委員）

委　員：今回、市の誘致企業として参加しました。現在、60 名の従業員が当社で働いている。来季は 20 名程度を採用したいのだが、どうようにして応募者を増やすか検討している。先日、10 代～20 代の心に刺さるようなプロモーションビデオを作成しました。市 HP の動画配信でも若い方の心に響くようなメッセージを伝えていただきたいと思います。（鈴木貴委員）

委　員：市民参加が大きく反映された計画書になったと思う。委員にとっても書面においてわかりやすいものになった。計画策定のプロセスが素晴らしかったと思います。市民ワークショップの開催は未来の南房総市を一緒につくりあげることに関わ

っている人口を増やした活動であったと思う。市民参加の中でフィードバックがないという意見があった。パブリックコメントの掲載方法をその場で説明すればよいのではないか。参加したのに不満が残るのはもったいないことです。お一人お一人の方を大切にする南房総市であってほしいと思います。個人的なことですが、南房総市に移住して 19 年になる。こちらで就農したいという農家の人の話を聞く予定です。小さなチャンスも逃したくないという思いで話をしにいきたいと考えています。（武田委員）

委　員：あわぼぉんネットの代表として前期計画の頃から審議会に参加していました。子どもの成長に伴い去年この団体は解散した。子育て世代にとって必要とされるものの移り変わりが激しいと感じていました。行政は継続した取組ができる場だと思います。今回の計画づくりにおいても、市のなかで課を超えたチームづくりをして柔軟なかたちで取り組まれていて素晴らしいと思う。今後も市民に寄りそう取組をしてもらいたい。フリーランスでライターをやっており、教育総務課を取材し、南房総市の教育が素晴らしいことを知った。今後、柔軟で積極的な広報を頑張ってほしいと思います。（藤井委員）

委　員：大変沢山の学びを得ることができた。自然の中での体験活動を子どもたちの教育に取り入れていくということに私は尽力してきた。教育のコンテンツとして、移住をしたい理由になり、観光の魅力ＵＰにも繋がると思う。一つの課題、施策がまわりとどのように連携していくかが重要になる。私たちが課題に取り組んでいる姿を子どもたちは見ている。発想の転換が大事であり、いい意味で課題を楽しんで乗り越えることが今の時代に求められていると思う。子ども達にもそのことを伝えることができたらいいと思います。（白井委員）

委　員：自分とは違う産業の方々と意見交換ができてよかった。最近、思うのは、「昔はよかった」ということを子どもに言わないようにしている。昨日より今日、今日より明日、の方が良くなるという希望をもって生きていきたいと思う。そのような意識をもって仕事もしていきたい。20 年の間、少子高齢化の最先端の分野を私たちは担ってきた。厳しい点は多々あるが、現状を悲観してはいけない。すべての農業者が非常に厳しい状況であるが、地域農業をより良くしていきたい。市内に住んでいる一住民として、気概をもってこの地に生活していることを子ども達に見せていきたいと思います。（岡本委員）

委　員：色々な分野の方のご意見を聞いて、南房総市ならではの教育ということに力を入れて取り組んでいると知った。学校給食を含め南房総市の教育を子どもたちが発

信者となって一人ひとりが社会に出て南房総市の提案や推進の役に立ってほしいと期待しています。観光案内所や道の駅等の人が集まる場所に移住定住パンフレットを置いたら良いと思います。（石井委員）

委　員：会議に出ると皆さんの活発な意見が聞けてよかったと思う。私もいま総務委員会という委員会の中で、ふるさと納税の勉強をしている。体験型のイベントなどを返礼品として検討してみてはどうか。調べてみると返礼品で２億円のシェルターとかインパクトの強いものがある。インパクトのあるもので南房総市に興味をもってもらい、移住してもらうには、どうするか考えている。南房総市の高校生はバス代に片道 640 円程かかり、部活動の終わる遅い時間はバスの運行がない。交通が非常に不便なことがこの地域の大きな課題となっている。そこをカバーし、住みやすい、場所づくりが大切になる。基本計画ができましたが、それに則ってよい南房総市になるよう頑張りたいと思います。（峯委員）

会　長：ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局：鎌田会長、円滑な進行をありがとうございました。続きまして、次第５「答申」に移ります。これより、会長に答申書を作成していただきます。この間、休憩とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

《休憩》

5　答申

事務局：お待たせいたしました。委員の皆様のお手元に作成した答申書の写しを配布させていただきましたので、ご確認ください。それでは、これより答申をいただきたいと思います。会長、副会長、市長は、あちらのボードの前まで移動をお願いします。

《会長が答申書を読み上げた後、市長に手渡した。》

市　長：長い時間をかけてご協力ご審議いただきまして誠にありがとうございました。皆様からいただきました様々な意見、そして計画に盛り込まれた様々な施策を着実に実行して結果を出せるように、職員一丸となって頑張ってまいりたいと思います。委員の皆様におかれましても、引き続きご指導ご鞭撻をいただきたいと思いますし、市民の皆様にもご協力をいただきながら、しっかりとしたまちづくりを進めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとう

ございました。

6　その他

事務局：それでは次第の６「その他」について、今後のスケジュールについて事務局より説明します。

《事務局より説明》

7　閉会

事務局：委員の皆さま方には、長時間にわたりまして慎重なご審議をしていただきましてありがとうございました。以上をもちまして、令和４年度南房総市総合計画審議会第４回会議を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

以上